

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	道路台帳整備事業			
予算科目	8 款 2 項 1 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 道路・交通基盤の整備			
所管課情報	担当課:	道路河川課	電話番号(内線):	593
記入者情報	所属長:	上坂 博一	担当責任者:	小西 洋三
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	利用者			
根拠法令等	道路法第28条			
事業の目的	道路台帳は、道路名や道路幅員を含む道路行政の基礎的資料であり、台帳整備			
事業の内容	市道の道路網図、図面、台帳調書等の形状変化に伴うデータ更新。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	台帳のデータ化を進めていく。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	7,400	7,400	0	7,398
	人件費	799	813	0	813
	合計	0	8,213	0	8,211
人件費 内訳	人工数	0.10	0.10	0.00	0.10
	人件費単価	7,999	8,135	0	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	799	813	0	813
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	8,199	8,213	0	8,211

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
委託料	千円	7400	7400	0	7398

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	8,000	8,000	8,000	8,000	0	32,000

成果指標				
成果指標	整備延長(km)			
指標設定の考え方	成果指標を設定するのは困難であるため整備延長とする。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標29年度
目標	5.43km	5.00km	0	0
実績	6.97km	4.57km	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	新規認定路線や改良区間の台帳作成を速やかに行える体制が必要である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	道路法で定められている台帳整備であり、新規認定路線はもちろんのこと、改良路線を漏れなく修正する必要がある。また、交付金の算定にあたって重要資料となることから、合併時での誤りはないか、精査をする必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	